

YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL

大学院国際社会科学府
経営学専攻（博士課程前期）

横浜ビジネススクール
社会人専修コース

2022年度 入試日程

第1次選抜

学力検査 / 小論文 2021年11月13日（土）

第2次選抜

口述試験 2021年11月27日（土）



YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL

横浜ビジネススクールの理念

21世紀の変動し続けるビジネス環境の下で、現代の社会人には、経営に関する高度な専門知識を習得するとともに、専門知識を実際の経営戦略や業務課題に有機的に結びつけ役立てていく統合的なマネジメント能力が求められています。横浜ビジネススクールは、本学の基本の理念である「実践性」、「先進性」、「開放性」、「国際性」に基づいて専門知識の深化と統合を追求した、社会人のための高度で実践的な経営専門教育を目指します。



横浜ビジネススクールの特徴

本スクールでは、上記の理念を実現するために以下のような特徴を持っています。

- 徹底した少人数による教育・研究**

受講生と教員間のハイタッチなコミュニケーションによる相互作用から今後の企業や社会等のあり方を考えるための新たな知を生み出します。各演習テーマの定員は6名とし、少人数でそれぞれの個性を大切にする知のインターフェイスを実現します。
- 演習テーマの設定**

現代社会に求められる2つの演習テーマを毎年設定します。社会的なニーズと教員のシーズを組み合わせ毎年新たな演習テーマを設定し、テーマごとに学生募集を行います。受験生は関心を持ついずれかの演習テーマを選択して受験します。
- 演習の重視**

演習テーマの下で専門領域の異なる2人の教員が2年間にわたって研究指導を行う「ワークショップ演習」「プロジェクト演習」を実施します。演習では、参加者同士がディスカッションしながら各自の研究を進め、その成果は「特定課題論文」としてまとめられ、プロジェクト報告会で発表されます。
- 高いクオリティと経済性**

国立大学法人ならではの入学金、授業料の水準は、経済的に大きな魅力となっています。(入学金: 282,000円、授業料 535,800円) また、2016年から「職業実践力育成プログラム」に設定されたことにより、専門実践教育訓練講座として指定されました。



横浜ビジネススクールは
「職業実践力育成プログラム」
(BP)として文部科学大臣に
認定されています。

演習A

企業のダイバーシティ&インクルージョン (D&I) 戦略 ： 人的資源管理論 (HRM) と組織行動論 (OB) からのアプローチ 二神 枝保 & 佐々木 秀綱

ダイバーシティ & インクルージョン (D&I) は、人的資源管理論 (HRM) と組織行動論 (OB) において重要なテーマになっています。日本企業では、まだ外国人や女性の管理職比率が低く、障がい者の雇用も限られています。しかし、人種・国籍・民族・年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず、多様性あふれる人材を包摂することで、組織に創造性や柔軟性が生まれ、競争優位をもたらすことが知られています。本演習では、企業における D&I について人的資源管理論と組織行動論の観点からアプローチし、受講者の方々の実践的な知識と融合させながら理解を深めていくことを狙いとしています。

演習B

サステナビリティ時代における価値創造戦略とコミュニケーション 大森 明 & 高橋 賢

あらゆる企業にとって、様々なサステナビリティが駆動する社会を意味するサステナビリティ・トランスフォーメーション (SX) 時代において、企業が中・長期を視野にこれらの諸課題の解決に貢献しつつ、自社の経済的価値を高めていくためにはどのような戦略を策定し、それをマネジメントしていくかが重要となります。サステナビリティ課題は多岐にわたり、また、その専門的知見も企業内資源では不十分であることから、多様なステークホルダーとの綿密なコミュニケーションも不可欠です。こうしたことを踏まえ、本演習では、SX を自社の中核の経営課題として捉えるためのマネジメントのあり方と、多様なステークホルダーとの有効なコミュニケーションについて考えていきます。

講義科目

(2020 ~ 2021年度実績)

リサーチ・メソッド

エコノメトリクス

戦略マネジメント

経営組織

技術マネジメント

マーケティング・マネジメント

ヒューマンリソース・マネジメント

グローバル・マネジメント

管理会計

財務会計

サステナビリティ・マネジメント

アカウンティング

企業財務

証券市場

確率・統計

組織変革

マネジメントと社会

オペレーションズ・マネジメント

市場分析

ビジネス・シミュレーション

企業情報システム

リスク管理

企業年金

国際会計

経営史

セキュリティゼーション

特殊講義

(Global Joint MBA Intensive Program)

特殊講義 (M & A)

特殊講義 (標準化とビジネス)

演習



最終試験に相当するプロジェクト報告会の模様
(修了生が多数参加)

在校生の声

佐藤 千文
(2020 年入学)

宮村 浩平
(2020 年入学)



ビジネススクールに 進学した理由は？



佐藤
さん

転職経験もないため、同一企業内での価値観でしかビジネスを見ていないのではないかと、思ったからです。人生 100 年時代。世の中に通用する力をつけたいと考えました。



宮村
さん

自身がキャリアを積む中で知識の無さ、考え方の狭さを感じ、ビジネスをアカデミックの視点で勉強をし、視野を広げたいと考えたためです。

YBS を選んだ決め手は？



佐藤
さん

他のビジネススクールには無かった、演習テーマの事前公開と選択、です。説明会ではしっかりテーマについて担当教員に質問でき、納得して選びました。



宮村
さん

3 点あります。通学、カリキュラム、テーマです。自身が通えることを第 1 条件としていましたが、最終的に少人数と 2020 年度の演習テーマが私の求めるものと合致し、ここだと思い受験を決意しました。

どのように勉強に 取り組んでいますか？



佐藤
さん

これまで触れてこなかった会計系の科目は複数履修して繰返に触れるなど、積極的に履修しています。家族、職場から応援をもらって週末も思いっきり勉強時間に使っています。



宮村
さん

夜遅い生活が苦手なため早朝に時間を確保するなど工夫をしています。大変な部分は当然ありますが、時間の工夫を含め、個人的に「楽し苦」過ごしています。

演習の雰囲気は どうですか？



佐藤
さん

年齢も、業種も全く違うメンバーがお互いにリスペクトし合っている空気が心地よいです。YBS だからこそ空気で議論は時間を忘れています。



宮村
さん

真剣な場です。キャラと専門の異なる二人の先生とのやり取りを始め、非常に濃い時間を過ごしています。ただし少人数なこともあり、先生や各メンバーの距離が近く非常に良い雰囲気です。

役に立ったところは？



佐藤
さん

多様な事象が複雑に絡み合ったビジネス課題をひとつづつ紐解いて、理論や先行研究と突き合わせができることです。理論的思考力が向上し実務で活かしています。



宮村
さん

仲間の皆さん、先生方から得る新しい視点は実務での視野を広げ視座をあげてくれます。また、修論がロジックとは何かを体にしみこませてくれていると感じます。

どんな仲間たちと 学んでいますか？



佐藤
さん

転職や MBA 取得目的というよりも、純粋な課題認識と、その解決をビジネスで活かしたいと研究に励む仲間が多いです。皆、地に足のついた研究をしていると感じます。



宮村
さん

業界、年齢、経験、全てが多岐に渡るメンバーです。少人数にも関わらずこれぞ多様というにふさわしい環境であり、かけがえのない仲間とは正にこのことだと思います。



正直言って、入学して よかったですか？



佐藤
さん

COVID-19 影響を受けて手探りでスタートしましたが、体験価値が上がったと受け止めています。やりたいと思えば時間は作れる！チャレンジし入学し本当に良かったです！



宮村
さん

良かったです。後悔はゼロです。入学していなければ出会えない方々、得られない知識と経験の宝庫です。キャンパスでの久しぶりの学生気分も最高です。

